

公益財団法人JKAからの補助により 新型コロナウイルス感染症対策を強化しました

1 補助事業名

2021年度 緊急的な対応を必要とする事業（新型コロナウイルス感染症の拡大防止策）
補助事業

2 補助事業の概要

(1) 事業の目的

本会では、新型コロナウイルス感染症対策として手指消毒や検温による健康管理、デスク間のアクリル板設置による飛沫飛散防止を実施してきましたが、換気については対策に余地がありましたので、公益財団法人JKAの補助を受け、換気を強化することとしました。

また、本会が実施する研修会事業等における参加者と職員の接触機会を減らすための機器の導入や、職員を対象として、定期的な抗原検査及びイベント前後のPCR検査を実施することにより、公益事業を安定して継続させることを目的としました。

(2) 実施内容

以下の物品等を購入し、事業所及び事業において活用しました。

【二酸化炭素濃度センサー付き空気清浄機4台】



【サーキュレーター2台】

事業所内にバランスよく設置し、二酸化炭素濃度を計測しながら空気を循環させています。

【非接触式検知器2台】



今年度実施した研修会事業の参加者の検温を非接触検知器で実施しました。

【抗原検査キット】



【PCR検査キット】



2週間に1度、常勤スタッフ全員が抗原検査を実施しています。
参加者を多く集めるイベント事業の前後に PCR 検査を実施しています。

3 予想される事業実施効果

事業所として感染症対策を徹底することにより、職員の感染防止意識が向上し、安心して勤務できる環境の整備につながります。

また、今後実施するあらゆる事業において非接触式検知器を活用することにより、検温時に参加者とのソーシャルディスタンスを保つことができ、参加者・職員双方の安心・安全を確保できます。